コード No. 10505

Anti-
Glucagon (52A1A) Rat IgG MoAb

容量 ： 50 μg

はじめに ： グルカゴン(Glucagon)は、膵臓 α 細胞から分泌される、29 アミノ酸残基からなる分子量 3,485 のペプチドホルモンです。肝臓に作用し、グリコーゲン分解と糖新生によるグルコースの産生および放出を促進し、血糖を上昇させます。インスリン(Insulin)とともにグルコースホメオスタシスの制御に関与しています。
グルカゴンの前駆体であるプログルカゴンは、産生される細胞により異なるプロセシングを受けるため、種々の類縁ペプチドを生じます。本抗体はグルカゴンの C 端を認識し、α 細胞で産生されるグルカゴンを特異的に検出します。

免疫抗原 ： Glucagon (23-29) 部分合成ペプチド (VQWLMNT)

起源 ： マウス×ラット ハイブリドーマ (培養上清)
(X63 -Ag 8.653 × Wister ラットリンパ球)

クローン名 ： 52A1A サブクラス ： IgG_{2a}

精製方法 ： Protein G 精製

包装形態 ： 1 % BSA, 0.05 % NaN_3 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 ： 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 50 μg/mL となります)

保存方法及び安定性 ： 2～8°C 保存 5 年間安定
溶解後 -20°C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 ： 免疫組織染色 0.1 μg/mL(パラフィン切片、凍結切片)にて使用可能

特異性 ： Glucagon C 端と特異的に反応します。

交差種 ： マウス、ヒト

文献 ：
1. Honzawa N, et al. Protein Kinase C (Pkc)-δ Mediates Arginine-Induced Glucagon Secretion in Pancreatic α-Cells. Int J Mol Sci. 2022 Apr; 23(7):4003.

株式会社 免疫生物研究所
〒375-0005 群馬県藤岡市中 1091-1
電話:0274-50-8666 FAX:0274-23-6055
E-mail: do-ibl@ibl-japan.co.jp
URL: https://www.ibl-japan.co.jp

220627/MS
231204/MS